

実施日：平成 28 年 10 月 18 日 (5 校時)・12 月 9 日 (5・6 校時) 12 月 19 日 (4・5 校時)	
領 域：総合的な学習	
取組名：室内小スマホ・ケイタイの使い方〇か条を決めて発信しようⅡ	
対 象：6 年生	実施場所：6 年教室他全 6 教室 各学年教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS について学習し、自分たちでルールを作り、全校生によびかけることで、学校全体で、ネットのトラブルから守ろうとする心を育てる。</li> <li>・ 危険性を知ること、自分の人権、他の人の人権を大切にしようとする態度を育てる。</li> </ul>	
<p>イ 指導内容 (指導略案) や取組の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ネットの使い方で便利な事や困ることなどを出し合う。(グループ)</li> <li>2. 自分たちの学校では、どんなことが危険なのかを考える。(グループ)</li> <li>3. グループで出した意見を出し合い 4 か条を決める。(全体)</li> <li>4. 各学年に応じた内容で学校の 4 か条を知らせる方法を考える。(グループ)</li> <li>5. 各学年に室内 4 か条を知らせに行く。(グループ)</li> </ol>	
ウ 連携先：一般社団法人ソーシャルメディア研究会	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に、兵庫県立大学竹内和雄准教授とソーシャルメディア研究会の講師や学生たちと打ち合わせを行い、子供たちが自分たちで「ネットトラブルを防止するためにどんなことに気をつけるとよいか」ということを考えることができるように進め方を研究した。</li> <li>・ SNS について研究をしている県立大学の学生を講師として、子供たちの話し合いのグループに 1 名ずつ配置することで、一人一人が自分の意見を発言できるようにした。ネットの中で他人を傷つけてしまうことなども十分に話し合えるようにした。</li> </ul>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果測定をもとに児童がどの程度理解をできたか、またどんな点が不十分なのかを研究し今後の指導に役立てていく。</li> <li>・ 教職員全員で最新の事例を学び、実践に役立てる。</li> <li>・ 6 年生の取組を全校生に発信することで 6 年生自身がより理解をすることができるとともに他の学年に広め全児童・全職員で取り組むことができる。</li> </ul>	
<p>カ 評価の方法</p> <p>6 年生感想および発表を聞いた学年の感想</p>	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少しずつ、子供たちの情報モラルが向上してきている。導入時には「自分には無関係だ」と感じていた子も、学習が深まるにつれ、自分のこととしてとらえられるようになってきた。</li> <li>・ 自分たちで 4 か条を作り他者に発信することで、子供たち一人一人が、よりモラルやマナーを守らなければいけないという意識をもつようになってきている。</li> <li>・ 受け身の学習ではなく主体的に考える場面が多い学習展開なので、終始意欲的に学習に向かうことができた。</li> </ul>	
<p>ク 課題</p> <p>日常生活レベルまでには、学習の成果が表れていない。地道に継続して取り組んでいくことで、平素からモラルをもって行動できる子供たちを育てていかなければならない。</p>	